

令和5年2月13日

会 員 各 位

四国紙パルプ研究協議会
会 長 橋 燦 郎

四国紙パルプ研究協議会
「令和4年度第2回講演会」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます

令和4年度第2回講演会を、下記の要領によりWEB配信にて実施いたします。各分野の第一線で活躍されている講師の方々による研究や最新情報をご講演いただきます。

ご多忙中とは存じますが多数ご視聴下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

開催日程 令和5年2月21日(火)～令和5年4月30日(日)(予定)
(2月21日からホームページ公開)
開催場所 四国紙パルプ研究協議会 ホームページ
<http://www.e-kami.or.jp/kamipaken/kamipakentop.html>
公式YouTubeチャンネルでの動画配信
参加費 視聴無料(申込必要)
申込方法 下記申込書をファクス又はe-mailにて、お送りください。

<参加申込書>

事業所名			
所在地			
TEL 番号		FAX 番号	
部署・役職	参加者氏名		

[参加申込先・お問い合わせ先] 四国紙パルプ研究協議会事務局
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1
TEL 0896-58-2055
FAX 0896-58-6240
E-mail info@e-kami.or.jp

四国紙パルプ研究協議会(Web 開催)
「令和4年度第2回講演会」講演発表プログラム

開催日程 2023年2月21日(火)～4月30日(日)(予定)

発表時間 各30分程度 [YouTubeチャンネルでの動画配信](#)

【演題要旨】

【配信期間：2/21～4/30(予定)】

講演1「未利用木質バイオマスであるリグニンの機能性物質への変換」

東京農工大学 大学院農学研究院 教授 松下 泰幸 氏

地球温暖化防止のため、カーボンニュートラルで賦存量も大きい木質バイオマス資源に大きな関心が集まっている。木質バイオマスの有効活用の一方法として、木材酸糖化法が挙げられる。これは、木材の多糖成分を酸により加水分解することで単糖類を得る方法であり、得られた単糖類は、家畜用飼料やバイオエタノール原料に利用可能であるが、リグニンは酸により高度に縮合してしまい、反応活性が乏しく、これまで利用価値が全く見出されてこなかった。今回の講演では、この木材酸糖化残渣リグニンの機能性物質への変換を中心に、クラフトリグニンからの難燃樹脂の製造方法についても併せて紹介する。

【配信期間：2/21～4/30(予定)】

講演2「白色腐朽菌および細菌共培養系による木質の有価物への変換」

宮崎大学農学部 森林化学・森林バイオマス科学研究室 教授 亀井 一郎 氏

木質をはじめとするリグノセルロースから輸送用燃料や化成品原料として利用可能な化合物を生産する技術開発は、世界各地で推進されてきたが、リグニンを除去する前処理において薬品や高いエネルギーを投入せざるを得ない。そこで、各プロセスを微生物反応に統合する研究がすすめられてきたが、脱リグニン能の付与には至っていなかった。演者は木質細胞壁主要成分すべてを分解可能な白色腐朽菌のみで木質の発酵を完結するIntegrated fungal fermentationを提案し、脱リグニン、糖化、発酵のすべてのプロセスを単独微生物に統合可能であることを示した。さらに、白色腐朽菌と細菌との共培養が可能であることを示し、木質バイオマスの有用物質への変換を目指した研究を展開している。

【配信期間が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします】

講演3「ピッチ問題解決のためのケミカルアプローチ (NISSIN – Pitch Control Method) および弊社薬品のご紹介」

㈱日新化学研究所 川之江営業所 所長代理 石川 聡 氏

近年の紙ばなれによる良質な古紙流通量の減少や、アカシヤ等の植林木利用率増加などの要因で、粘着物によるピッチトラブルは増加傾向にある。原料に含まれるピッチは、原質工程においてある程度除去されるが、残存したものは抄紙工程へ持ち込まれ、そのピッチは、各工程へ付着堆積し、欠点などの品質低下、断紙などの操業性悪化の要因となる。弊社では、ピッチトラブルの解決手段として、原質工程におけるピッチ対策を最も重要と捉えており、その上で、抄紙工程において局所的かつ必要に応じたピッチ対策を施すことが品質向上、生産性向上へ繋がると考えている。本講演では、製紙工場における生産性向上、特にピッチトラブル改善に関する弊社の取り組みについて紹介する。

また、併せて生産現場の悩みを解決する弊社製品ラインアップを紹介する。

※講演の内容に関する質問等については、事務局までお問い合わせください。